

会 議 録 要 旨

1. 会議名称	令和3年度 第2回 恵庭市公営企業経営審議会
2. 開催日時	令和3年11月9日(火) 13時30分～15時15分
3. 開催場所	各対応場所及び恵庭市役所3階 第1委員会室(委員) 及び第2・3委員会室(職員)
4. 出席者名	<p>【委員】 宇野 二郎 新名 孝信 菅原 伸治 田中 悟史 梶川 浩二 野村 真弘 落合 信也 茶園 利紀 須藤 進 熊谷 洋子 橋本 千津子 本多 利恵</p> <p>【市側】(水道部長) 吉川 賢一 (水道部次長) 尾池 嘉治 (経営管理課長) 畑 拓哉 (同主査) 高橋 豊 (同主査) 横山 真澄 (同スタッフ) 中村 知暉 (同スタッフ) 五十嵐 美里 (同スタッフ) 中者 真一 (上水道課長) 萩原 由紀夫 (同主査) 遠藤 美樹 (下水道課長) 平井 誠 (同主査) 佐藤 洋介 (終末処理場長) 高橋 光男 (同主査) 石丸 直稔</p>
5. 審議会の経過	<p>※以下は、事務局が発言の要旨を要約しており、いわゆるテープおこしをしたものではありません。</p> <p>(1) 開会 事務局より委員の過半数以上の出席により審議会が成立したことの報告。</p> <p>(2) 会長挨拶 会長より挨拶。</p> <p>(3) 報告</p> <p> 【令和2年度 公営企業会計決算について(資料①)】～【国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉グランプリの受賞について(資料③)】を説明後に一括して質疑を行う。</p> <p> その後に【恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略の進捗状況について(資料④)】と【恵庭市下水道事業経営戦略の進捗状況について(資料⑤)】の説明・一括質疑を行うこととした。</p> <p> ○令和2年度 公営企業会計決算について(資料①) ※経営管理課財務担当主査より説明。</p> <p> ○汚泥乾燥施設の運転状況について(資料②) ※下水終末処理場担当主査より説明。</p> <p> ○国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉グランプリの受賞について(資料③) ※下水道課長より説明。</p>

<質疑応答>

(委員)

まずは資料③でグランプリを受賞したことについて、本当に素晴らしいと思った。

質問だが、資料①について、公営企業会計は複式簿記で行っているとのこと、今回の資料の中に損益計算書は入っているが、貸借対照表が入っていないのは何故か。

次に、資料①の5ページ上段の表(収益的収支(3条))における収益的支出(B)における増減の表記について、予算に対して決算が減っていることから、ここはマイナスと表記するのが通常ではないのか。

他は、決算から予算を引いて計算されているのに対し、支出だけ、予算から決算を引いて計算しているのは、純利益(A-B)の計算をする上で、自分の感覚としては分かりにくい。

(説明員)

1点目の質問について、損益計算書に対し貸借対照表を載せていないのは何故かということだが、まず複式簿記では、財務諸表により損益計算書・貸借対照表・他にもキャッシュフロー計算書等が示されており、指摘のあった貸借対照表は、水道・下水道事業の資産保有状況を示した表となる。

しかし、この表は複式簿記になじみの無い人にとっては分かりにくい表であることから、今回の報告では、あえて省略させていただいた。

2点目の質問の、資料①の5ページ目の予算額と決算額との差額の記載についてだが、収益的収入(A)の方は、予算に対して決算が増えていることからプラス表記となり、収益的支出(B)の方は、予算額に対して決算額が低く、予算が余っているため前者と引き算が逆になることによりプラス表記となる。

現在の記載方法が分かりにくいということであれば、今後の検討とさせてもらいたい。

(委員)

資料①の9ページあるいは17ページで、経営戦略との比較がされているが、経営戦略とは何年周期で作成されているものなのか。

(説明員)

経営戦略の見直しは、10年間の計画の中でおおよそ5年ごとに実施しており、進捗管理については毎年行っている。

(委員)

データとして5年ごとに違ってくるということか。

このデータは議会に説明を行ったものか。

(説明員)

3～5年の期間で大きな要因があれば、適時全体の見直しを行う。
経営戦略に関しては、議会報告を行っている。

(委員)

バイオガスについての質問だが、資料①の23ページと資料②の数値を比較してみると、資料①の雑収益では決算額が88,221千円でバイオガス売却収益により予算比10,146千円のプラスとなっており、資料②の表3においては令和2年度の汚泥処理の委託費が41,792千円となっている。

委託費の41,792千円と雑収益の88,221千円は、どのように関連しているか。

また、雑収益の中でバイオガス売却収益に係る金額はどの程度か。

(説明員)

資料②の令和2年度の委託費41,792千円は、汚泥処理に要した費用のみを記載しており、資料①の雑収益88,221千円との関連としては、どちらも運転費用に関わる金額ではあるが、直接的に連動するものではない。

次に、バイオガスの売却収益についてだが、資料①の雑収益88,221千円の中の約87,000千円分が該当となる。

(委員)

資料①と資料②の数値は別々のもので、比較出来る数字ではないと考えて良いか。

(説明員)

考えて良い。

○恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略の進捗状況について（資料④）

※経営管理課財務担当スタッフより説明。

○恵庭市下水道事業経営戦略の進捗状況について（資料⑤）

※経営管理課財務担当スタッフより説明。

<質疑応答>

(委員)

資料④の1ページ目に記載している進捗状況について、「計画どおり実施」が14項目とあり、2ページ目の評価の欄では「計画どおり実施」として18

項目に○が付いているが、この項目数の相違は何か。

(説明員)

1 ページ目における 14 項目というのは、2 ページ目では施策番号の合計数となる。

各施策番号には複数の事業を行っているものがあり、委員が質問した 2 ページ目での 18 項目というのは、事業の合計数 21 件の内、「計画どおり実施」と評価した件数であることから、1 ページ目で記載した項目数のことではない。

(委員)

資料⑤の 1 ページ目に記載の進捗状況について、令和 2 年度の「事業完了」が 4 項目とあるが、2 ページ目の表を見ると「事業完了」で◎が付いている項目は 2 項目しか無く、この項目数の相違は何か。

(説明員)

2 ページ目の表において、令和 2 年度の 2 項目について進捗状況が未記載となっているものがある。

未記載の理由は令和元年度で事業完了済であるため、この 2 項目についても令和 2 年度において事業が完了したものとして集計していることから 4 項目となる。

(委員)

資料④の 2 ページ目で、基本目標Ⅲの基本方針(3)にある施策 5 「水道事業広域化の推進」において「他事業体との人事交流」とあるが、人事交流であれば同じ基本目標の中の基本方針(2)「人材の育成と技術の継承」に含めた方が望ましいと思う。

人事交流を基本目標(3)とした考え方を教えて欲しい。

(説明員)

「恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略」において、基本方針(3)の施策 5 「水道広域化の推進」は、近隣事業体との連携を図るための意見交換会や技術講習会の実施による人事交流を事業展開としているため、現状、事務・技術部門の知識の向上を考えた千歳市との定期的な情報交換会を実施しているが、一般的なイメージにある職員同士を派遣して行う人事交流は行っていないためである。

(4) 議事

【恵庭市下水道ビジョン・経営戦略(素案)について(資料⑥-1(本編版)及び資料⑥-2(概要版))]～【恵庭市水道事業給水条例等の一部改正について(資料⑦)]まで、議事毎に説明と質疑応答を行うこととした。

○恵庭市下水道ビジョン・経営戦略（素案）について（資料⑥－１及び⑥－２）
※経営管理課総務担当主査より資料⑥－２に基づき説明。

<質疑応答>

（委員）

２ページ目の第３章「２ 水環境の保全」における合流式下水道と分流式下水道について、合流式下水道は市役所周辺の１０３．４ヘクタールに残存と記載されているが、資料５の２ページ目で分流化の達成率５４．４％とあることから、今後分流化される４５．６％も市役所周辺に残されているということか。

（説明員）

市役所周辺で合流式下水道となっている１０３．４ヘクタールとは、恵庭市の合流式下水道の全体面積を示しており、その内の５４．４％について分流式下水道への事業整備が終了している。

残りについては、令和７年度までに整備を行うことで考えている。

（委員）

例えば、恵み野地区等は最初から分流式下水道で整備されていたということか。

（説明員）

その通りである。

恵庭市で、最初に下水道が整備された市役所周辺の区域は合流式下水道となっており、それ以降に整備された区域は当初より分流式下水道となっている。

（委員）

今回の「下水道ビジョン・経営戦略」の構成が、資料⑥－２（概要版）の８ページ目となる最後の第８章により５０年先までの「長期的な財政収支見通し」と記載することで、本来のこの計画の計画期間内である令和４年～１３年が使用料の改定も無く経営が安定しているという部分が見えにくい。

特に文章の少ない概要版では、長期的な財政収支見通しやそれに伴う段階的な料金改定などの内容が、この計画の結論となったように受け取ってしまう。

経営戦略に長期的な計画を記載するのは、計画策定の際に、足元の１０年間だけをみて計画を立てないようにするためであり、本計画期間での状況を主に説明するのであれば、「長期的な財政収支見通し」については、例えば、コラムや参考として記載した方が、本来の計画期間での内容がきちんと伝わるのではないか。

（説明員）

ご指摘のとおり、今回の計画は今後の１０年間で主軸となるため、ご意見いただ

いた補足や追加の表現も含めてその部分が読み取れる構成となるように検討するとともに、予算編成などを踏まえて修正したい。

○「恵庭市下水道ビジョン・経営戦略」のサブタイトル・基本理念について（議題2（提出意見結果））

※経営管理課総務担当主査より説明。

（進行係）

事前に各委員よりこの内容のとおり提案をいただいたが、このことについて意見をもらいたい。

事務局に確認するが、恵庭市ではサブタイトルと基本理念は別々に考えるということが良いか。

（説明員）

その通りである。

（委員）

基本理念において、「水の大切さを」よりも「大切な水を」と表現した方が良いのではないか。

（進行係）

サブタイトルとして3種類あるが、どれが良いか。

（委員）

サブタイトルは案3が適当だと考える。

恵庭市の特徴では「緑が美しい」という点があり、「つながる」というキーワードが今の時代に合っていると思う。

（進行係）

案2の「子どもたちへ豊かな自然を受け継ぐ下水道」と案3の「自然を愛し緑の美しいまちとつながる下水道」の双方とも恵庭市らしくて良いと思うが、基本理念に於いて「次世代に引き継ぐ」の文言で子どもについて触れているので、案3が良いと思う。

他に意見はないか。

（各委員）

異議なし。

(進行係)

それでは、サブタイトルを「自然を愛し緑の美しいまちとつながる下水道」とし、基本理念を「大切な水を次の世代に確実に引継ごう」としたい。

○恵庭市水道事業給水条例等の一部改正について（資料⑦）

※上水道課長より説明。

<質疑応答>

(委員)

手数料の設定はこの内容でかまわないと思うが、徴収方法はどの様に行われるのか。

(説明員)

今回のタッチパネル式システムでは、図面の閲覧から支払いまでの一連の流れを全て構築するため、入金・領収書の発行までも機械により申請者が行う。

(委員)

自動販売機と同様に考えれば良いか。

(説明員)

例えとしては、その考えで結構である。

(委員)

窓口調査の実績の年間約1,500件から手数料を算出していると思うが、今後とも年間1,500件程度で安定すると考えているか。

(説明員)

年間約1,500件という数字については、ここ数年の実績を加味して算出しており、窓口での対応を見ても、今後しばらくは同じような状態が続くと推測している。

(委員)

新型コロナウイルス感染症の影響や、利用者の減少による原価割れの心配も無いと考えて良いか。

(説明員)

現在までの新型コロナウイルス感染症の影響は不明だが、土地取引も活性化しており、全体的に件数が大きく減少した実態も無く、原価割れの心配も無いと考えている。

(5) その他	○今後のスケジュール・委員報酬等の支払いについて ※経営管理課スタッフより説明
(6) 閉会	終了時間 15 : 15